



稼げる! プロコン育成塾

稼げる! プロコン育成塾 23期 第9回講義、次のとおり報告します。

■実施要項

開催日時：2024年2月24日（土）

開催内容：

【塾長講話】	講師：山崎 肇 塾長
【診る】 診断実習（報告書のブラッシュアップ）	講師：木村 洋一氏（14期）
【ロールモデル】 稼プロ! 卒業生に聞く“成功の秘訣”	講師：安藤 準氏（14期）
	講師：水口 淳一郎氏（16期）
【特別講義】 活躍するコンサルタントに必要な姿勢	講師：金綱 潤 特別講師

■講義レポート

2月24日（土）、稼げる! プロコン育成塾 23期第9回講義を開催しました。

1. 【塾長講話】 能登半島地震の復興支援

講師：山崎 肇 塾長

朝、事務局のアクシデントにより時間を大幅に短縮しての講話となりました。「能登半島地震の復興支援」に参画されており、被害の大きさ、復興への道のりの困難について語られました。次回、再度塾長講話で今回予定いただいた講話をお話しいたします。

アクシデントにかかわらず、塾長講話の短縮だけにとどめ、事務局全員の連携によりスムーズな講義進行につなげることができました。臨機応変な現場対応力が大切と教えられました。

2. 【診る】 診断実習（報告書のブラッシュアップ）

講師：木村 洋一（14期生）

木村洋一講師「診る」診断実習です。「診る」の3回目となる本講義は、報告書初版のブラッシュアップです。講義の1週間ほど前に塾生より提言書初版が提出され、その内容を一段も二段も上の提言にブラッシュアップします。

最初に診断士のプロとしての矜持の持ち方についてお話がありました。塾生が稼プロ!を卒業した時には、どこでも通用するプロであってほしい、との木村講師の想いがあります。診断士勉強で学んだ理論の実践での使い方、診断士視点でものごとを考え、まわりを観察する習慣、締切をきっちり守る厳格さ、を持つことを訴えます。

次に、診断先の現状分析、目指すべき姿、提言へ落とし込むまでの考え方のプロセス、相手に伝わる提言書の書き方について講義されました。チャートをふんだんにつかった視覚に訴えるテキストでポイントをおさえつつ、本質に迫るための怒涛の情報量が提供されます。まばたきする時間ももったいないくらいの密度の濃さです。

最後は、各提言書（3グループにわかれて、それぞれテーマを分けて、グループで提言書を作成しています）に対して具体的なコメントです。提言書の WORD 文書に詳細なコメントを付加し、そのひとつひとつを、なぜそうなのか理由を明確にし、丁寧に的確に説明します。



塾生は、この講義を聴いて、プロの診断士像というものが何か、という具体的なイメージを持つことができたのではないのでしょうか。診断先の事業者がすぐにでも取り組んでみようと思う珠玉の提言にブラッシュアップされることが期待されます。

3. 【ロールモデル】稼プロ！卒業生に聞く“成功の秘訣”

講師：水口 淳一郎氏（16期）

ロールモデルは二人のOBに登壇いただきました。一人目は、16期生の水口 淳一郎氏です。大手鉄道系の情報システム会社に勤務、ITを専門としたキャリアを経て、2016年に本業と並行して個人事業主として開業、2021年に診断士として独立しました。段階的にしっかりと時間をかけて準備した後に独立された、その経験と実績についてじっくりとお話いただきました。

稼プロ！の基本スキル「診る」「聴く」「話す」「書く」にご自身の業務内容を分類し、どの基本スキルがどの仕事に効いているか、顧客獲得に活かされているかわかりやすく解説します。そして、何よりも稼プロ！で得られた大きな財産は、稼プロ！で育ててきた縁であるということ、稼プロ！事務局長ならではの裏話を交えて、楽しく語られました。

稼プロ！で学んだことが診断士の活動において、おおいに役立つことを実感できました。



4. 【ロールモデル】稼プロ！卒業生に聞く“成功の秘訣”

講師：安藤 準氏（14期）

二人目のロールモデルは14期生の安藤 準氏です。大手電機メーカーでシステムエンジニアとしての活動を経て、2015年に診断士として独立しました。中小企業へのIT活用支援、研修講師の両輪を主軸に、様々な場面でご活躍されています。

稼プロ！では何度かご登壇いただいております、大人気のロールモデル講義です。診断士になると決意した瞬間に精力的戦略的に創業のために行動し、期間を決めて仕事を安定させました。その間のバラエティに富んだ経歴の数々、ダイナミックで魅力的な話術に引き込まれ、ライブ感に溢れた追体験となりました。

独立初期と現在の業務を、ポートフォリオ分析の形で比較し、どのように現在に至ったかをわかりやすく語ります。これほど赤裸々に診断士のなりわいについてお話いただける機会は他ではありません。独立を考えている塾生にとって大変貴重であり、背中を押してもらえます。

セミナー講師・研修講師に対する取り組み方や仕事の獲得方法も詳細にわたっており、講師のプロを目指している塾生は、将来に向けて具体的にどのように考えて行動していけばいいか、大きなヒントを得られたことでしょう。



5. 【特別講義】活躍するコンサルタントに必要な姿勢

講師：金網 潤 特別講師

本講義、最後を飾るのは、東京都よろず支援拠点チーフコーディネーターとしてご活躍中の金網 潤氏による特別講義です。

東京都よろず支援拠点の体制、特徴についてご紹介いただいた後、その支援に対する考え方をお話しいただきました。相談者である経営者との信頼関係を築き、企業自身が自走化するための伴走支援を行う。東京都よろず支援拠点の役割をよく理解できました。

続いて、東京よろず支援拠点での豊富な事例を題材に、支援の進め方や注意点などお話しいただきました。具体的に現場の状況に触れることで、経営者といかにして向き合えばよいかを学ぶことができました。

後半は、グループワークです。経営力とは？経営力のある社長とは？その経営者を支援する、価値のある診断士（コンサルタント）とは？価値ある診断士になるために何をすべきか？について考えます。お客様、行政、診断士仲間、三方に信頼していただくためのコミュニケーション力とは？価値ある診断士になるために必要な自身の課題は何か？について深く考える機会となりました。

終始、熱く語っていただいた金網氏の言葉に、価値ある診断士のイメージが浮かびあがりました。塾生は、これからそこに向かって進んでいこうという気持ちを新たにできた様子でした。



■次回の案内

次回講義は、3月30日（土）です。

第10回（3月30日）

【塾長講話】山崎 肇 塾長

【話す】ビデオ録画で振り返る模擬プレゼンテーション（10:30～17:30） 富岡 淳 講師

（事務局：田本 秀行(15期)）

以上